

令和6年度
三庄小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 初見の文章や長文を正確に読む力、表・グラフを読み取る力の育成
- 体験活動、ICT活用による思考・話し合い活動の活性化
- 自主学習の充実

学力向上検討委員会構成

- | | |
|------------------|--|
| 学力向上推進員
平尾 美樹 | 委員
校長:大櫛秀明 教頭:木村麻紀子 教務:邊見瑞穂
生徒指導主任:中川浩行 研修主任:中妻道人
人権教育主任:高原利佳 道徳主任:原田綾乃 |
| | |

校長

大櫛 秀明

【小中連携または中高連携における共通の取組】

自主的・意欲的に取り組む児童を育てるための「めあて」と「振り返り」の工夫

【各校における実行プランの取組状況の把握について】

中間期や年度末など様々な機会を捉え、取組状況を報告し合い把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている児童が多く、与えられた課題に対しては意欲的に取り組もうとする態度が見られる。 ●語彙が少なく、問題の趣旨や長文の内容を読み取る力や、要点をまとめて書く力に課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、生活の場面や学習に活かすことができる。 ・語句の意味だけを理解するのではなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすことができる。	・読書タイムを日課表に組み込むことで全校児童が落ち着いて読書をする時間を確保し、本の中の様々な言葉に触れながら語彙力を高めていけるようにする。 ・漢字や計算ドリル学習に加え、新聞を活用して、読解力や速読力を高める学習や既習問題を反復的に行う。 ・内容のまとまりや、いろいろな情報を結び付けて考えるように、授業展開や発問を工夫する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、書いたりできる児童が多い。 ●必要な情報を得るために、聞き取ったり読み取ったりする力が十分に育っていない。また、要点を絞って書いたり話したりすることにも課題がある。	・目的や意図に応じて必要な情報を取捨選択し、根拠を挙げながら分かりやすく書いたり話したりすることができる。 ・友達の意見と比較したり、つなげたりして、自分の考えを広げ深めることができる。	・目的や意図に応じて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったり、要点をまとめたりする場の設定をする。 ・ICT等を効果的に活用し、他者から考えや表現の仕方学ぶ。 ・授業の中で実物に触れたり操作したりする活動を増やし、実体験から深い学びにつなげていけるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○宿題や与えられた課題に対してまじめに取り組むことができる児童が多い。 ●自分で学習課題を見付け、主体的に取り組むことが苦手であり、学習内容によって意欲のばらつきが見られる。家庭での学習時間にも大きな差がある。	・望ましい学習規律を身に付け、どの教科の学習にも主体的に取り組むことができる。 ・自分で学習課題を発見し、自ら考えた方法を用いて解決することができる。 ・興味関心をもったことについて、既習の学習を活かして自分で学習を進めることができる。	・全職員で共通理解のもと、学習規律の定着を図る。 ・本時のめあてを明確にし、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにすると共に、学びを振り返る場を設定する。 ・個に応じた課題を解決できるよう、ICTを活用した授業展開や発問を工夫する。 ・自主学習の仕方を具体的に提示したり、優れたノートを紹介したりして、家庭学習の充実へとつなげる。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

4月

